

「御用記録」杉谷為左衛門重嘉 文政八年酉臘月

文政8年12月(1826)、為左衛門が山家同心杉谷又左衛門の養子となってから弘化3年(1846)までの公務記録。

山家同心は、山間部在住の有力者から選ばれ、平時は農耕に励みながら武芸修練して有事に備え、また領内の偵察なども行ったといわれています。